

## **TAJIMA 田島ルーフィング株式会社**

田島ルーフィング株式会社は、1919年東京・三河島で建築防水材料の製造販売会社として産声を上げました。以来、雨漏りから建物を守ることを使命とし、96年にわたり防水材を提供し続けてきました。1950年の進駐軍向け床材納入を皮切りに、本格的に製造を開始。1965年には床タイル部門を独立させて製造販売会社を設立しました。2014年12月に両社の更なる発展を目的に改めて統合を実施、新生・田島ルーフィング株式会社としてスタートいたしました。

特に床材部門では1953年に国産初の「塩化ビニル床タイル」を発売し、さまざまな建物にビニル床を提案してまいりました。近年では少子高齢化にともなう老人福祉施設・病院の増加が予想される中、「高齢者・介護者の双方に負担の少ない床材」についての研究を重ね、柔らかく、疲れにくい床材を開発。現在も医療・福祉施設を中心に病室からトイレまで、快適な空間を足元で支える優れた床材をつくり続けています。

また、より良い病院と福祉のトイレの環境づくりを目指して設立された「癒しのトイレ研究会」にも所属し、快適なトイレ環境を日々研究。衝撃吸収性や抗菌性の機能はもとより、空間の彩や心を豊かにする色柄・デザイン、居ながらの改修工法など総合的な床づくりの提案を行っています。

私たちは、防水事業で培ってきた建物を風雨から守り抜く技術力と、床事業で磨いてきた確かな品質をベースに、これからも多くの人々に『安心』と『快適』を提供し、『屋根と床のエキスパート』として、そして建物を利用する「ひと」を何よりも第一に考える企業として、来る100周年に向けて従業員、経営陣一丸となって、更なる技術力向上を目指してまいります。

》 公式サイトはこちら